

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：木村 昌司

事業名	ひがしおおさき 東大崎拡幅（一般国道289号）	事業区分	一般国道	事業主体	新潟県	
起終点	自：新潟県三条市下坂井 至：新潟県三条市東大崎	延長	1.6 km			
事業概要	一般国道289号は新潟県新潟市を起点とし福島県いわき市に至る幹線道路である。東大崎拡幅は、幅員狭小を解消し、あわせて歩道の整備等を行い、円滑な交通の確保、安全な生活環境の確保を図る。					
H9年度事業化	S63年度都市計画決定 (H 年度変更)	H12年度用地着手	H13年度工事着手			
全体事業費	約10億円	事業進捗率	75%	供用済延長	0 km	
計画交通量	8,400 台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 3.2	総費用 (残事業)/事業全体 4/12 億円 〔事業費：2/10億円〕 〔維持管理費：2/2億円〕	総便益 (残事業)/事業全体 13/13 億円 〔走行時間短縮便益：13/13億円〕 〔走行費用減少便益：0/0億円〕 〔交通事故減少便益：0/0億円〕	基準年	平成18年	
感度分析の結果						
事業の効果等	円滑なモビリティの確保・・・バス路線の利便性が向上する。 安全な生活環境の確保・・・歩道の新設により歩行者の安全性が確保される。 災害への備え・・・第2次緊急輸送道路であり、地域の緊急時安全性の確保を支援する。 <div style="text-align: right;">他2項目に該当</div>					
関係する地方公共団体等の意見	新潟・福島両県の沿線市町村を中心として「国道289号線建設期成同盟会」が組織されており早期整備、供用の強い要望がある。また「新潟県県央広域市町村圏協議会」からも同様な要望がだされている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	三条大橋の供用等により国道289号の交通量が増加しており渋滞が悪化している。 (H11センサス：9,183台/日 H17センサス：10,785台/日)					
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成18年度中にL=0.3kmを供用予定。残事業区間がL=1.3kmである。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	用地取得の難航、JRとの協議に時間を要したが、共に解決した。交通障害箇所であるクランク状区間の早期改良を目指し、今後の事業進捗を図る。					
施設の構造や工法の変更等	特になし					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	事業の必要性や重要性は高く、事業進捗も見込まれることから、継続が必要である。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。